オランダの民族衣装を身に着けて記念撮影を楽しむ観光客（ハウステンボス）

広報させぼ

No.637

PUBLIC RELATIONS SASEBO

PUBLIC RELATIONS SASEBO

広報させぼ 編集長
「キューちゃん」

特集 観光地で働く人々 ····2〜5p

今月の主な内容

●年末年始の市の業務、成人式、市町村合併 ··6〜 9p
●市民の広場 ································10〜11p
●施設だより、イベント ······················12〜13p
●歴史散歩、カレンダー、テレホンガイド ····22〜23p
●九じろうの取材日記 ·························24p

12月
2003 December

九じろうの取材日記

出前保育
「みんなよっといでー！」

暖かい秋の日差しに包まれた10月31日、黒髪町の菫ケ丘公園で出前保育「みんなよっといでー！」が開催されました。

■育児中の母親に保育士の出前を

出前保育は、「育児中の母親に、もっと外出の機会を持ってもらおう」と、菫ケ丘幼児園・地域子育て支援センターが保育士の出張派遣を始めたもので、ことし5年目になります。

対象は、保育所や幼稚園に通っていない児童とその保護者。市内の子育て支援ネットワーク施設（かいぜ保育園、新田保育園、春日幼児園、藤原幼児園、双葉幼児園）の協力を得て、月に1度、市内の公園や保育園、幼児園で開催しています。

親子で走ったり、寝転がったりして、子どもたちの歓声が響く菫ケ丘公園

保育士の冨永さんが歌いながら手遊び「グーチョキパー」のお手本を見せると、好奇心いっぱいの小さなひとみが注目

■保育士の呼び掛けで、親子の触れ合い遊び開始

参加したのは20組の親子で、進行役は同支援センターの保育士・高木悦子（たかきえつこ）さんと冨永悦子（とみながえつこ）さん。

最初に、公園に広げられたシートの上で手遊びや紙芝居（写真下）が始まりました。「仲良し機関車」の紙芝居では、アヒルやヒツジの鳴き声や動作を真似た冨永さんの名演技が、参加者の笑いを誘う場面もありました。

親子体操で軽く運動した後は、シートにあおむけになった児童の全身をお母さんがマッサージ。スキンシップを通して子どもたちの心もすっかりほぐれたようでした。

最後は、トイレットペーパーの芯（しん）と毛糸を使って、タコにも風車にも見えるおもちゃの製作。公園内は、出来上がった作品を手に、元気に走り回る子どもたちでいっぱいでした。

トイレットペーパーの芯に切り込みを入れ、色を付けたりシールで飾り付けを楽しむ親子

「ほら見て」と作品を風車のように回転させて遊ぶ女の子

■交流の輪が広がる「出前保育」

「子どもよりもこの日を楽しみにして来た」と言うお母さんたちにとって、「出前保育」は育児についての悩みを相談したり、情報を交換する貴重な機会だそうです。

また、「親子で手をつなぎ、歩いて参加できる距離で開催されることも魅力の一つ」とのことでした。

お尋ねは菫ケ丘幼児園・地域子育て支援センター（☎㉞4188）

編集長から「一言」

取材を通して初めてシーカヤックに挑戦し、運動音痴であることが発覚してしまったわたし。しかし、九十九島の海は穏やかなこともあり、短時間の講習で自由に海上散歩を楽しみ、その大自然の美しさを体感することができました。何だか得した気分です。（N）

広報させぼ
12月1日発行
※「広報させぼ」は再生紙を使用しています。
佐世保市役所企画調整部秘書課広報係 TEL0956-24-1111 FAX25-2184
〒857-8585（市役所専用）長崎県佐世保市八幡町1-10 http://www.city.sasebo.nagasaki.jp 印刷／中央印刷有限会社